

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【 は じ め に 】

近畿事業推進部の川畑です。梅雨入りましたがあまり雨が降っていませんね。このまま梅雨明けすると夏の水不足が心配されます。災害は困りますが、ほどほどに雨も降って欲しいです。地球温暖化で地球環境はますますおかしくなっています。SDGs、未来の子供たちへ持続可能な世界を残すのが、私たち大人の義務ですね。そのために自分にできることを私はやっています。

円安が凄いですね。1月始値1ドル115.05円が6月高値136.71円までできています。5カ月で21円の円安進行は、経済への影響大きいですね。

2002年1月高値135.14円なので20年ぶりの円安です。円安になると輸入品が値上がりしますね。世界的供給不足でいろんなものが値上げされ、生活は厳しくなっています。グローバル経済ではインフレは輸入されます。

そんな中、参議院選挙がやってきました。6年前に当選した参議院議員さん、6年前の公約がどうなったのか、結果はともかく、プロセスはきちんと定量的に説明して欲しいものです。

衆議院選挙に落選したから、参議院選挙に出る方もいらっしゃるようですが、そうすると参院って必要なのか、衆議院との違いはなんなのか、必要なのかと疑問が湧いてきます。

もし、明治初期の設立趣意だとすると、改選124人（比例代表選出議員50人、選挙区選出議員74人）は全国の都道府県知事47人と政令指定都市首長20人の67人でいいのではないのでしょうか。そしてICTを使って、必要な時にネットで開催するとタイムリーに審議が出来て、歳出もかなり抑えられますね。NTTの画期的テレワークを国会議員も見習って欲しいものです。

今月もU協近畿通心を愉しんで頂けると嬉しいです。



今年も近くのくちなしの花さんに会えました。毎年愉しませてくれます。

【 ICT用語豆知識（NFT名刺） 】

今月は「NFT名刺」です。NFTとは、「Non-Fungible Token（ノン-ファンジャブルトークン）」の頭文字を取ったもので「非代替性トークン」という意味です。非代替性ですから、替えがない唯一無二のものですね。トークンは、ブロックチェーン技術を使用して発行した「暗号資産」の総称です。ブロックチェーン技術は簡単にいうと、データの改ざんや不正利用が非常に困難で「安全にデータを記録できる技術」のことです。取引情報がブロックとして記録され、チェーンのように繋がっていくからブロックチェーンと呼ばれているのです。「替えが効かない唯一無二であること」を「ブロックチェーン技術を利用して証明」する技術ということになりますね。いまこの技術を使って、デジタルに唯一無二の証明を持たせています。デジタル資産の所有者を明確にできるようになり、デジタル資産の希少性を担保できますから話題性が高く、「投機商品」としても注目されています。

NFTが出来る前は、デジタルアート（オンライン上のイラスト・画像など）、ゲーム内のアイテム、マンガ、トレーディングカード、音楽などの「所有者」を明確にするのが困難でしたが、NFTでは「所有者の明確化」をすると同時に、「希少性の担保」もできます。NFTアートとも言われています。

例えば、Twitterの創業者ジャック・ドーシーの初ツイートは、取引額：291万5835ドル（約3億1640万円）の値が付きました。世界に一つという証明がつくので、欲しい人がその希少性でも買っているようです。

このNFTの一つがNFT名刺です。これを使ったサービスがいま出てきています。NFT名刺は、紙を使用しないため環境に優しく、二酸化炭素を排出しないため環境に優しいエシカルな名刺です。

これによって大量の紙の名刺を持ち歩かず、常に1枚のNFT名刺を持ち歩くだけで済みます。

あなたの近くで使っている方はいますでしょうか。

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。岡部達昭先生編】

先月は第93回「A I時代の電話対応教育」（2021.11.15）をご紹介しました。いかがだったでしょうか。今回は第94回「**“きく”力をみがく**」をご紹介します。

昭和の頃から、企業で電話対応業務に携わり、その後、長く後輩たちの指導に当たってこられた先達の話聞く機会がありました。「当時は、敬語、言葉づかい、説明力の指導が中心でしたが、**一番大変だったのは『“きき”方』の指導**でした。お客様の苦情やニーズが商品開発など会社経営に直結するのですから」その方の話を聞いて、私の認識の甘さを反省致しました。

時代は大きく変わりましたが、**“きく”力の重要性はさらに増しています。**

「聴く（訊く）力」は判断力を支える

「**電話対応とは“きく”ことである**」という言葉が、安全弁のように安易に独り歩きをしているように思います。しかし、“きく”力ほど見えにくいものはありません。聴いている振りをしているだけでも、よく聴いてくれているようにも見えます。何を聴き取ったかも曖昧ですし、関心の度合いも不明です。耳を音が素通りしただけかも知れません。煎じ詰めれば、**大事なものは“きく”ことではなく、聴き取った情報**なのです。

ビジネスでも暮らしでも、**人間力の真価を決めるのは「判断力」**です。的確な判断力を備えた人間が勝ちます。**判断を支えるのは的確な情報**です。コミュニケーションにおいても電話対応においても、“きく”ことが最も大事だと言いながら、**私たちは、その“きく”ことが苦手**なのです。

“きく”とは、言葉を聴くのではなく、**意味内容を聴く**のです。そして**しっかり考える**のです。その結果が、確かな判断に結びつきます。

命を賭した伝令の役目

聴いて得た情報が、確かな判断に結びつくには、聴き取る力のトレーニングを繰り返すことが必須の条件です。昔は情報を得るには、リアルに見るか、聴くしかありませんでした。ネット社会の今は、小さなスマホ一つからでも、何百、何千、何万倍の情報が、いとも簡単に手に入ります。

その分だけ、**聴き取る人間の耳の力が劣化しているように思います。**

日本に軍隊があり、外国と戦争をしていた頃の話です。離れた部隊に、口頭で上からの命令を伝えるのに、伝令という役目の兵隊がいました。前進や退却など、全軍の勝敗と命に関わる伝言ですから、一言でも間違いは許されません。一切紙は残さない、全て頭で覚え、口頭で伝えなければいけない。それも弾丸の飛び交う戦場での話ですから、伝令の役目の厳しさは、察するに余りありません。

昔、伝言ゲームがあった

第二次世界大戦の終わった戦後の教育に、この旧軍隊の伝令システムが、ゲーム化して使われていました。児童・生徒たちが5・6人で1チームを作ります。チームごとに伝言を受ける順番を決めます。それぞれのチームのリーダーに伝言メモが渡されます。「火の用心の巡回キャンペーンを行う。2月12日（土）午後6時から、対象5・6年生、希望者は公民館横広場に集合、主催自治会」ここには五つの情報が入っています。リーダーはメモ内容を覚えて1番目の人に伝えます。

以下2番目は3番目に、3番目は4番目に、そして5番目まで行きます。5番目のアンカーは受けた伝言の内容を、全員の前で発表します。遠い昔の記憶ですが、1番目のリーダーが伝えた情報が、間違いなくアンカーにまで伝わったチームは、一つか二つしかありませんでした。正確に伝えるには勿論書いて伝えるに越したことはありません。しかし、この伝言ゲームが流行ったのは数十年前の昔です。さまざまなツールが発達した今のほうが、耳で聞くだけだったその頃より聴く力は落ちているように思います。**お客様の電話は、判断のための情報収集に始まります。**その意識で**まずしっかり聴いてください。**

聴いたことを第三者に伝えられるように

伝言ゲームの良さは、聴いたことを、そのあとすぐに第三者に伝えなければならないことです。

そのことを意識しておくだけで、聴き方が変わります。整理しながら聴けるようになります。

話を聞くことは、常にお客さまとの共同作業ですから、決して急がないことです。

お客さまが安心して話せる状況を作ることです。例えば、お客さまの話に積極的に共感をしめすこと。お客さまの言葉を短く繰り返す相づちなども、安心感一体感に繋がります。

A Iの時代、今後A Iがどこまで聞く力を伸ばすかは分かりません。しかし、IT化による効率化の波は、「きく”力」という人間力まで飲み込む恐れがあるのです。

【ユーザ協会の得意技！ こんなICTの紹介をしています。へ～え そうなんだ。】

今回は、「**注意しておきたい、ソフトや機器の使用期限**《第12回》」（2022.04.12）をご紹介します。

掃除機や洗濯機のような家電では、故障するまで、もしくは性能が十分に発揮されなくなるまで使用し続ける人が多いのではないのでしょうか？しかし、Wi-FiルーターのようなICT機器、パソコンやスマホ、タブレットは、**一見、正常に何不自由なく使えていても、新しいソフトやアプリ、または機器を更新しないといけない**ことがあります。

今回は、そのうちの代表的な事例を取り上げてみたいと思います。

OSの使用期限

パソコン、スマホ、タブレットでは、頻繁にOSの更新プログラムが配信されています。

例えば、Windowsパソコンでは、セキュリティ面の改善を目的に配信されていますが、数年に一度、大型の更新があります。Windows 10からWindows 11への更新などです。このようなケースでは、ニュースなどでWindows 11のことを目にする機会が増えるため、新しいOSへの意識が高まります。しかし、大切なのは、Windows 10のほうです。

Windows 10は、数年は並行して使えるようになっていますが、いずれサポートが終了します。

それがいつなのかを知っておくことはとても大切です（**Windows 10は2025年10月14日まで、Windows 8.1は2023年1月10日までサポートが継続されます。（Windows 7はすでにサポートが終了）**）。

このサポート終了までに新しいOSへ更新する必要があります。Windowsと同様にmacOS、AndroidやiOS・iPadOSのサポート状況も、各社ウェブサイトなどで確認し、併せて「**自分の使っている機器のバージョンは何か？**」「**そのバージョンはいつまでサポートが受けられるのか？**」を把握しておくことが大切です。

ソフトやアプリの使用期限

OSと同様に、パソコンのソフト、スマホやタブレットのアプリも、セキュリティ上の問題を改善するために、頻繁に更新されています。**ソフト開発会社やアプリストアから、新しいバージョンのものをダウンロードし、更新するようにしましょう。**

これまで、ウェブサイトアクセスの際に必要なブラウザで圧倒的なシェアだった**Internet Explorer（IE）は、2022年6月16日（日本時間）にサポートが終了します。**

マイクロソフト社は、Microsoft Edgeというブラウザを提供しており、Edgeへの移行を促していますが、企業内利用のウェブサイトでは、まだまだIE用に作られているものが多くあるようです。企業内利用のウェブサイトやウェブシステムは、早期にIE以外のブラウザにも対応するよう改修する必要があります。

また、スマホでは新しいバージョンのアプリが配信されることに併せて、古いOSには対応しなくなることがあります。

例えば、旧バージョンのアプリでは「iOS 15～iOS 12」で対応していたものが、新バージョンのアプリがリリースされると同時に「iOS 12」の対応を終了し、「iOS 15～iOS 13」と対応範囲が変わることがあります。使用しているiOSが“12”のままだと、正しく動作しません。

OSとアプリのバージョンの組み合わせを十分に確認することをおすすめします。

通信機器の使用期限

自宅でWi-Fiを使っている人も多いことでしょう。「通信速度が遅いなあ…」と感じて光回線のメニューを変更したとしても、Wi-Fiルーターが古いと速度が上がりません。

Wi-Fiには通信規格が複数あり、通信速度は11Mbps/54Mbps/600Mbps/6.87Gbps/9.6Gbpsと分かれています。低速にしか対応していない古い機種では、速度が上がりません。他にも、Wi-Fiの無線通信区間で盗み見られないように暗号化する技術は、年々進化しています。古い機種では、暗号化されていても技術が古く、解読されやすいものもあります。

より新しい方式に対応した機器に取り換えましょう。

【お役立ち情報：大前さんに第四の波に向けた国家戦略を学びました。】

5月31日に大前さんに第四の波（サイバー社会）に向けた国家戦略を学ぼうを開催しました。今回は47都道府県すべてから1,000人を超えるお申込みがありました。

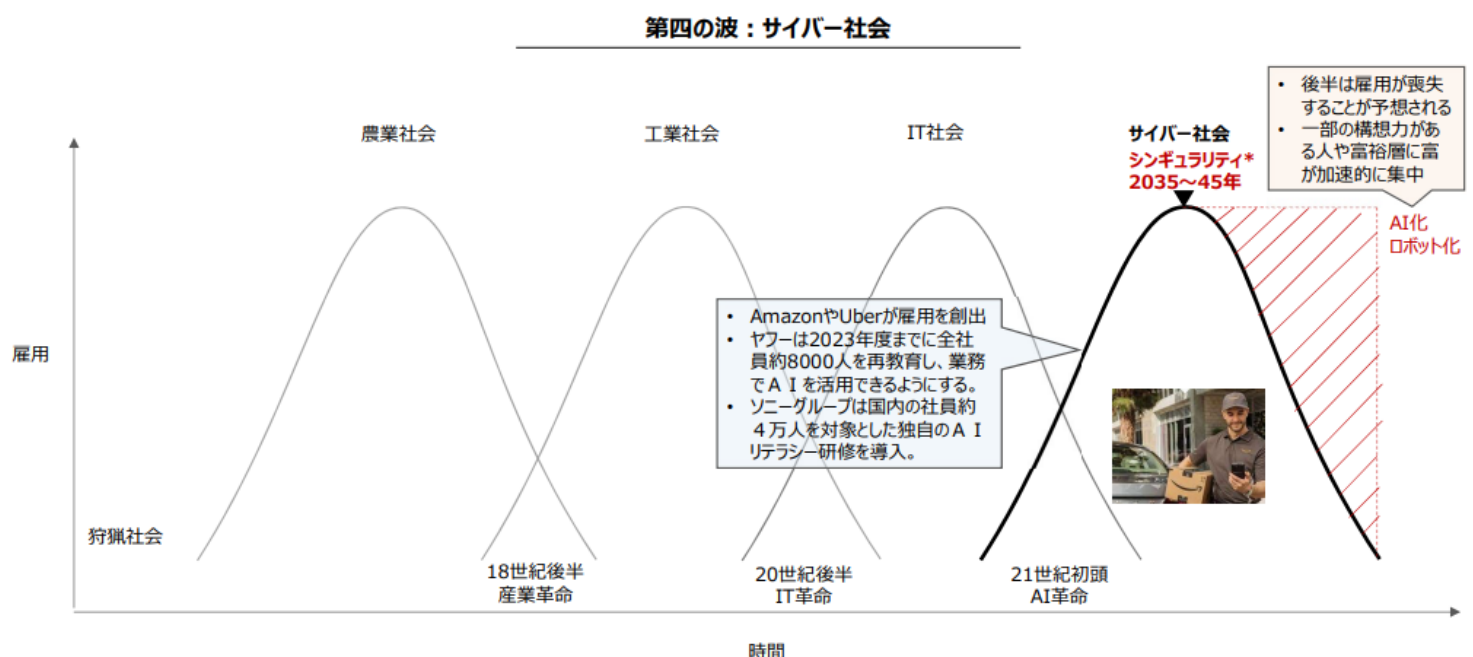
毎回、凄く好評をいただき、企画・開催にも力が入ります。

今回は、残念ながらご視聴いただけなかったかたもいらっしゃいますので、その概要をご紹介します。

（サマリー）

- 安倍政権は21世紀の経済原則を無視した愚策を連発したが、**岸田政権も同じ轍を踏み、早くも迷走状態**にある。
- 岸田政権が提唱する新しい資本主義による「賃上げ企業優遇策」は、資本主義に対する冒涇であり、**政府は次々に打ち出す経済政策がことごとく効かない要因を理解し、経済政策の方向性を改めるべき**である。
- 21世紀の**新しい経済の構造変化に影響を与えている二大要因**は、「**第四の波の到来**」と「**人生100年時代という将来不安**」である。
- 未来学者アルビン・トフラーが提唱した「第一の波（農業社会）、第二の波（工業社会）、第三の波（IT社会）」の段階を経て、**人類社会の発展段階には“第四の波（サイバー社会）”が到来**している。
- サイバー社会がIT社会と異なる**特徴は「スマホベース、AIベース、無から有を生む」**ことである。
- 21世紀は“構想力”が富の源泉となるが、日本は工業化社会に適應した人材しか育成できておらず、企業を規制で縛りつけているために、サイバー社会への移行が遅れている。**教育は時代に20年先行させるべき**である。
- 人類社会の発展段階において、前半は雇用を創出することで競争力を増し、後半は雇用を削減することで競争力を増すため、日本が“サイバー社会”に入れたとしても、後半には**雇用を削減するフェーズが訪れることは不可避**である。
- まずは日本を“サイバー社会”へと移行させるべく、**工業社会時代の規制を廃止すると同時に教育改革を実行するべき**。
- サイバー社会の後半では、**サイバー社会の勝者から多く徴税し、雇用や社会のシステムの維持に還元する仕掛けも検討すべき**。

“第四の波”のピークは、2035~2045年頃に来るものと想定される



*未来学者であるレイ・カーツワイル氏が2005年に提唱した概念。「人工知能（AI）」が人間の知能を超える転換点（技術的特異点）または、それにより人間の生活に大きな変化が起こるとする概念のこと。

（出所）大前研一、BBT大学総合研究所

※次回の大前さんに学ぼうは9月の予定です。現在企画中です。

【お役立ち情報：ザ・ゴールって本をご存じでしょうか。】

いま、DXって単語をよく聞くようになりましたね。DXはこれから避けて通れない企業の道ですが、どうやったらいいのかわからないという声もよく聴きます。以前、BBTのDX推進基礎講座をご紹介しました。

今回は、DX推進に参考になる本「ザ・ゴール」をご紹介します。1984年に出版されたエリヤフ・ゴールドラット博士の本です。革新的な内容に加え、筆者の異色の経歴もあいまって、全世界で1,000万人以上が読んだ大ベストセラーとなりました。

シリーズものになっていて、私も20年以上前の課長時代にシリーズ全てを読んだ懐かしい本です。その後の会社人生でとても参考になりました。若い管理者の方にもお勧めの本です。

昔、お読みになった方も多いのではないのでしょうか。

実は、この本はアメリカで1984年に出版されたのですが日本語翻訳版が出されたのは、2001年となんと17年後のなんですね。びっくりしますね。

1984年当時は日本企業の競争力が世界を席巻していました。

そういう時代でしたね。それは突出した日本の現場力に加え、TOC（制約理論）があまりに日本文化と一致しているので、日本で翻訳出版されると貿易不均衡が益々加速して世界経済が破綻するという著者エリヤフ・ゴールドラット博士の意向で、2001年まで翻訳出版禁止となった、いわくつきの本だったのです。

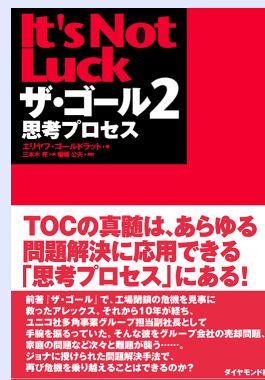
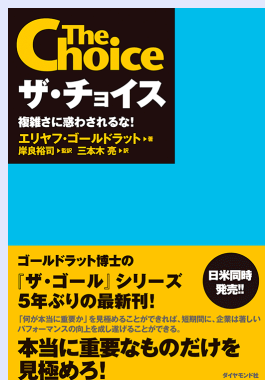
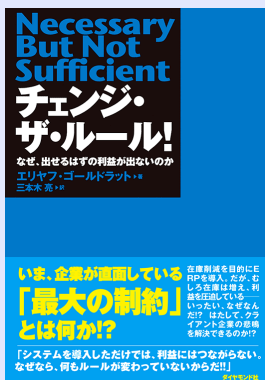
このコミック版は、架空の日本企業に置き換え原作のエッセンスをコンパクトのまとめてあります。時間のない方もコミック版ですので、数時間で読めます。

DX推進の参考本として、従業員の方にも読んでもらいたいお勧めの一冊です。目次を紹介します。

（目次）

- 第一章 工場閉鎖の危機——残された時間はわずか3カ月
- 第二章 会社の目標とは——新たな3つの目標
- 第三章 「理想的工場」の幻想——効率を高めれば目標から遠ざかる
- 第四章 久々の休日——ハイキングと工場で起きていること
- 第五章 窮余の一策——サイコロゲームが教えてくれたもの
- 第六章 「瓶の首」を探せ——何が工場を決めているか
- 第七章 子供たちのヒント——ドラマ、バッファ、ロープ
- 第八章 1本の鎖と全体最適——継続的に利益をあげるために

懐かしいシリーズです。読みましたね。私の会社人生で凄く参考になりました。



学ぶことの最大の障害は答えを教えることではないか？それは自分で答えを見つける機会を永久に奪ってしまうからである。自分で論理的に考えて、答えを見つけ出すのが人が学ぶための唯一の方法だと私は信じている。人が考えるようになるためには、命令形の「！」より疑問形「？」の方がはるかにいい。（エリヤフ・ゴールドラット）

【お役立ち情報：お見逃しなく！電話対応によるCS向上のチャンスです。】

現在、電話対応コンクールを実施しています。一次予選、地区大会、都道府県大会を経て、全国の代表者57名が11月に山口市に集まり全国大会が開催されます。

これと同時に企業電話対応コンテストが開催されます。このU協通心でも何回がご紹介しています。今日はその参加メリットと紹介映像、優秀な対応音声をご紹介します。

まず、この企業電話対応コンテストに参加すると、どんなメリットが御社にあるのかを以下の5ポイントでご紹介します。応募は次ページをご覧ください。

☆1 通常業務の中で診断ができます

☆2 レポートで自事業所の電話対応品質が客観的にわかります

100点満点、専門家によるアドバイス、参加企業中順位つけされます

☆3 レポートを元に今後の電話対応品質向上が図れます

☆4 入賞すると表彰され社外に電話対応品質をアピールでき、企業プレゼンス向上につながります

会長賞、理事長賞、優秀書が授与されます。

認定ももらえます。テレコムフォーラムにも特集掲載されます。

・ゴールドランク企業：3年連続して会長賞または理事長賞受賞企業

・シルバーランク企業：3年以上優秀賞以上受賞企業

☆5 継続参加することで、自事業所の成長がわかり、従業員のモチベーションアップが図られます

(企業電話対応コンテストの実施イメージ)



1 スタッフが架電



2 電話に出た方が対応



3 仮のお客さまとして会話



4 専門家が審査

(企業電話対応コンテストの紹介映像)

企業電話対応コンテストとは <https://youtu.be/c1scOK6-r6U>



昨年会長賞 ダイキン工業株式会社様

https://youtu.be/DYEENu0od_I



<今年も原稿大募集中！ご紹介します。>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいですね。いつでも待ってま〜す。写真も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp (川畑) までファイル (A4) を送って下さい。

締切間近！受付7月20日（水）までです。 年1回のチャンス。チャレンジお待ちしております。

あなたの会社の電話対応によるCS（お客様満足度）はどれくらいでしょうか。

参加企業を大募集！

日本電信電話ユーザ協会

参加募集中！

自社の対応が他と比べてどうなのかを知る貴重な機会です。



- 参加企業の声 /**
知識とスキルの両面が試されるコンテストをチームの成績表ととらえて、毎年参加しています。
- 電話応対力の現状認識と、底上げ、将来展望を描く欠かせないものです。
- お客様に寄り添った温かい対応や提案力など、スタッフ一人ひとりのスキル向上に大変役立っています。
- 当たり前と思っていたことが、お客様にどう受け止められるのかを理解することができます。

あなたの会社に覆面で電話し、電話対応のプロがこんな診断結果をお届けし、CS向上のお手伝いをいたします。

企業電話対応コンテスト報告書（コールセンター部門）			受付番号 D-000236
事業所名			顧客満足度 63 / 100点
部署名			
電話番号			
実施月日	2017年8月		
対応者	女性	対応時間	4分19秒

診断結果		
◆ 御社総合診断結果 ◆		
診断項目	配点	点数
最初の対応	5	3
基本応対スキル	20	12
コミュニケーションスキル	20	13
情報・サービスの提供	20	12
最後の対応	5	3
全体評価(加算)	30	20
総合計	100	63

平均点との比較		
診断項目	平均	点数
最初の対応	3	3
基本応対スキル	12	12
コミュニケーションスキル	12	13
情報・サービスの提供	12	12
最後の対応	3	3
全体評価(加算)	19	20
総合計	61	63

総合評価

お客様の要件(名義変更)に対して、簡潔に回答し、ご来店いただく際の持ち物についても、積極的に案内することができています。また、「ご案内させていただいてよろしいでしょうか」と、お客様の状況に配慮しながら案内を進め、お客様がメモを取るようにスピードを落とすことで伝えていることができています。親切な印象です。新しい名義の免許証や保険証がないとおっしゃるお客様に、本人確認ができる資料があるかどうかを保留に確認し、住民票を案内することができているため、お客様に安心感を与えています。しかし、本人確認書類を確認するため保留にする際に、唐突に「お口座はこちら本店営業部でよろしいでしょうか」と確認しており、お客様は何を質問されているかわからず、戸惑った様子が見られます。

アドバイス

お客様の問い合わせに簡潔に回答することは安心感だけでなく信頼感を与えることに繋がります。また、積極的に質問を投げ掛け、会話をリードする姿勢も見受けられます。今後も、お客様の詳しい状況について、自ら聞き出しを行いニーズの把握に努め、お客様の状況に配慮した案内を心掛けます。メモを取る場面ではスピードを落とすことができているが、全体的にやや早口で一方的に話している印象です。十分な間を取りながら、お客様のペースに合わせた対応が求められます。「口座をお作りいただいた支店窓口は、本店営業部でよろしいでしょうか」等、一度で聞いて理解できる表現が求められます。わかりやすい表現での説明は、お客様を気遣う姿勢が伝わっており、優しさに繋がります。

企業電話対応コンテスト

普段の電話対応が審査の対象です。通常の業務中に、電話をおかけします。

2022 5/1 申込受付開始! 7月20日まで

概要

ユーザ協会の専門スタッフが「仮のお客さま」となって企業に電話をかけ、その際の電話対応について、専門家が客観的に業種別の評価を行い、優秀企業を表彰します。

- スタッフが架電
- 電話に出た方が応対
- 仮のお客さまとして会話
- 専門家が審査

参加料 一般 **14,300円(税込)** 会員 **11,000円(税込)** (いずれも、1診断先あたりの参加料です。)

参加のお申込みは、日本電信電話ユーザ協会ホームページの「企業電話対応コンテスト」内の「お申込みフォーム」からとなります。

詳細内容のご確認 お問合せ、お申込みはこちら <https://www.jtua.or.jp/education/contest/>

会員様は参加料もお得です。同時入会でも会員価格となります。

参加企業様からこんなお声を頂戴しています。

参加企業の声

- 自分たちの電話応対力の現状認識と、底上げ、将来展望を描くステップとして欠かせないものと考えています。日々意識して対応力向上に努めることの大切さを確認することができました。(保険業 A社)
- 自社の対応が「他のコンタクトセンターと比べてどうなのか」を知る、貴重な機会です。またフィードバックされる報告書は、弊社では「当たり前」と思っていたことが、お客さまにどう受け止められるのかを、理解することができます。(製菓業 B社)
- お客さまに信頼いただける電話応対品質は、社内の教育だけでは不十分です。毎年、コンテストに参加させていただき、その後は報告書を基にした勉強会を行っています。そうした取り組みは、お客さまに寄り添った温かい対応や提案力など、スタッフ一人ひとりのスキル向上に大変役立っています。(食品製造業 C社)

入賞企業における「受賞」の扱い（活用事例）

- ショールームでゴールドランク企業であることをパネルにしてPR (製造業 D社)
- 民放地域TV局全社、新聞社に自社に引き、受賞発表会を開催 (TV放映及び新聞掲載となった) (食品製造業 E社)
- 入賞したことを受賞に至るまでの取り組みやコメント等を含めて報道発表 (Webニュースに掲載された) (美容関連品製造業 F社)
- 自社HPのお知らせに初受賞したことを発表 (保険業 G社)
- 実際に対応したスタッフへ社内表彰を実施 (サービス業 H社)
- 表彰模様等を社内報に掲載 (製造業 I社)

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/太田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**
でご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿6支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者あてに送付させていただきます。